

プログラム名	<h1>植物ネイチャービンゴ</h1>
ねらい	写真と照合しながら野草の観察をしたり、特徴を示すヒントから野草を特定したりすることを通して、野草の種類や生育の様子について関心を高めたり、自然を愛護したりする態度を養う。
内容	季節の野草（樹木）についての写真や特徴が示されたシートを活用し、植物を探しながら野山を探索します。また、見つける楽しさをより感じてもらえるように、シートをビンゴ形式にしています。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 理科 第3学年 B 生命・地球(1) 身の回りの生物</li> <li>・ 小学校 理科 第4学年 B 生命・地球(2) 季節と生物</li> <li>・ 小学校 理科 第5学年 B 生命・地球(1) 植物の発芽、成長、結実</li> <li>・ 小学校 理科 第6学年 B 生命・地球(2) 植物の養分と水の通り道</li> <li>・ 中学校 理科 第1学年 第2分野 (1) いろいろな生物とその共通点 など</li> </ul>
---

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【友達と相談しながら野草を探索する様子】



【植物ネイチャービンゴシート】

◆ 活動を通して育成が期待される主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	“「問い」を発する子ども”の具体的な姿
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養 ○	主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」 ○

◆ プログラムの展開例 「植物ネイチャービンゴ」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 野外を散策する際、服装や持ち物等の約束及び気を付けることを確認する。</li> <li>・ 身の回りの野草や樹木を観察する。</li> <li>・ 季節によって植物の様子に違いがあることを観察する。</li> </ul>
--------------------------	---

児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
1. 活動のめあてを確認する。【5分】 山中で季節の植物を見つけ出そう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸条件から、当植物は時期限定のことを伝え、探索の意欲を高める。</li> </ul>
2. 活動の見通しをもつ。【5分】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シートの記入方法等を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かぶれる植物について知らせる。</li> <li>・ 活動範囲を示す地図を配付し、探索の見通しがもてるようにする。</li> </ul>
3. グループごとに自然散策コース上で、シートにある植物を探し、特定する。【60分】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動範囲を明確にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校職員と連携し、活動の際の安全確保に努める。</li> <li>・ 活動状況に応じて、植物を見付けるコツや見分け方のポイント等を適宜助言する。【学校職員】</li> </ul>

☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆

**“問い”の例**

見た感じはそっくりだけど、どこか違う感じの植物があるよ。

◎植物のある場所には理由があるのかな？

- ・ 似ている花はどうやって見分けるの？
- ・ 見付けにくい植物は、目立たないところにあったり、小さかったりするのだろうか？

これは間違いなくこの植物だと思う！

見分け方のポイントとして、花だけでなく、葉の形やつき方にも目を向けることができるようにする。

発言：児童生徒

支援：指導者

地図に生育場所の様子も書き込むよう促す。

◎水辺や木陰など、植物それぞれに生育場所が違っていたね。

- ・ 見た目以外にも手がかりがあるんだね。
- ・ 花だけでなく、葉や茎など他の部分も植物を特定する役に立つね。

同じ植物は似たような所に咲いているね。

解決の姿

さわった感じやにおいが特徴的なものがあるよ。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの植物の特徴を捉え、観察している姿勢を褒め、興味・関心を高める。【学校職員】</li> </ul>
4. 活動のまとめ、報告をする。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予想に対して、見付けた場所の様子を考えることができるようにする。</li> </ul>
5. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りの植物への関心を高める。</li> </ul>

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書に載っている植物を身の回りでも観察してみる。</li> <li>・ 図鑑や情報端末を活用し、植物の生育地や構造についての理解を深める。</li> <li>・ 季節の七草や他教科等にも関連付ける。</li> </ul>
--------------------------	--



◆ プログラムの展開例 「防災スキル」(避難所生活設定)

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>各家庭にある防災マップや防災用具について、家族と確認し合う。</li> <li>今まで自分が見聞きした災害はどのようなものがあったかを想起する。</li> <li>各自が知っている防災スキルや防災知識について紹介し合う。</li> </ul>
--------------------------	--

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
岩城 少年自然の家 での 学習  【100分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 災害時に自分や家族を守ろう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他の命を守るための活動だということを強く認識できるようにする。</li> </ul>
	2. 災害や場面の設定を理解する。【5分】 <ul style="list-style-type: none"> <li>おおまかな活動の流れを把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな災害時の設定であることを伝え、目的意識を高める。</li> </ul>
	3. 災害のケースや災害時に必要な対策を考え、必要なスキルを学ぶ【60分】 <ul style="list-style-type: none"> <li>今回の災害ケース以外にも、想定される場面を思い浮かべ、考えを交流し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所での集団生活を想定し、役割分担を促す。</li> <li>水道や電気が無いなどのライフラインの条件に伴い、様々なスキルや行動が必要であると気付くことができるようにする。【学校職員】</li> </ul>
	☆次のような「問い」を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
	4. 活動のまとめをする。【25分】 <ul style="list-style-type: none"> <li>「タイムライン」の手法でまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に問題解決に取り組んでいる様子を褒め、防災に対する意欲を高める。【学校職員】</li> <li>タイムラインシートを用意し、学んだことについて整理できるようにする。</li> </ul>
	5. 活動を振り返る。【5分】	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の気づきを認める。</li> </ul>

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>国や地方公共団体が災害に対して、どんな対策や事業をしているかを調べる。</li> <li>実生活においてどんなケースにどんな防災スキルを活用できるか考える。</li> <li>避難訓練の際に、関連付けられる考え方や行動、スキル等について話し合う。</li> </ul>
--------------------------	---

岩城少年自然の家 体験活動プログラム

プログラム名	キャンプファイヤー
ねらい	営火場に灯す大きな炎を囲んで、セレモニーや歌、スタンプを体験することを通して、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。
内容	炎にまつわる儀式を体験したり、仲間と協力し合いながらグループ発表をしたり、みんなで炎を囲んで集団の心を一つにしたりするような体験ができる活動です。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 音楽 第5・6学年A(1) 歌唱の活動イ</li> <li>・ 小学校 道徳 第5・6学年D 感動、畏敬の念</li> <li>・ 小学校 理科 第6学年 A(1) 燃焼の仕組みア(ア) など</li> </ul>
--

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【火の神を中心にしたセレモニーの様子】



【全員が炎を囲みトーチを灯す様子】

◆ 活動を通して育成する主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	○

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	○
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	

◆ プログラムの展開例 「キャンプファイヤー」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 司会役や営火係、聖火係など必要な役割分担をする。</li> <li>・ キャンプファイヤーで行う儀式・歌唱について、その意義を把握する。</li> <li>・ 交歓の集いにおける歌やダンス、スタンツについて内容を決め、練習をする。</li> </ul>
--------------------------	---

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
岩城 少年自然の家 での 学習  【90分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 キャンプファイヤーで絆を深めよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動を通してみんながまとまることへの期待を述べる。【学校職員】</li> </ul>
	2. 活動の見通しをもつ。【5分】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動範囲を把握し、各自の持ち場につく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 係の子どもが、めあてを発表できるように指導する。【学校職員】</li> <li>・ 足元が暗いので注意を促す。</li> </ul>
	3. キャンプファイヤーを始める。 【70分(第1部「迎え火の集い」20分、第2部「交歓の集い」40分、第3部「送り火の集い」10分)】 ※三部構成で実施の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分担した役割に従って行動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全確保のため、必要な場所で見守ったり照明を調整する。</li> <li>・ 風力や風向に注意を払う。</li> <li>・ トーチ棒の持ち方や片付け方について安全指導を再確認する。</li> </ul>
	☆次のような「“問い”を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
<p>“問い”の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 炎はどのくらいの迫力があるのかな？</li> <li>・ こんなに暗くて怖そうな状況で、みんなと仲良く楽しく活動できるのかな？</li> <li>◎ここでの歌は、いつもみんなで歌っている歌とはどんな違いがあるのかな？</li> </ul> <p>大きな炎は怖くないかな。</p> <p>みんなの絆が一つになった気がする。</p> <p>仲間同士の親睦を深めるといふめあてを確認する。</p> <p>発言：児童生徒</p> <p>支援：指導者</p> <p>みんなで儀式を行い、歌を歌った気持ちを問う。</p> <p>練習してきた通り、みんなで声を合わせて歌うのは楽しいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暗闇で見る炎は、特別な感じがしたね。</li> <li>・ 大きな炎をみんなで囲んで活動して、互いの距離感が縮んだような気がするね。</li> <li>◎心を一つにして歌うことで、歌の楽しさを新たに感じる事ができたよ。</li> </ul> <p>曲の感じがキャンプファイヤーに合っていたね</p> <p>解決の姿</p>		
	4. 活動を振り返る。【10分】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感得した一体感を今後に生かせるように講評をする。【学校職員】</li> <li>・ 気付いたことや感じたことを発表する時間を設け、よい発言を賞賛する。【学校職員】</li> </ul>

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薪の積み方やトーチ棒の扱い方などから、物が燃えることについて考えを深める。</li> <li>・ キャンプファイヤー体験を振り返り、心に残ったことを作文にまとめる。</li> <li>・ 炎に対して畏敬の念を抱くことができるような物語に触れてみる。</li> </ul>
--------------------------	--

岩城少年自然の家 体験活動プログラム

プログラム名	火おこし
ねらい	まいぎり式の火おこし器を使用して、その仕組みを捉え、昔から火をおこしてきた先人の知恵を感じ取ることを通して、社会や生活に活かそうとする態度を養う。
内容	まいぎり式の火おこし器を用いて炭化した黒い粉（火だね）を生成します。それに着火しやすい素材と接触させて、さらに空気をたくさん取り込むことで火をおこすことができます。

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 社会 第6学年(2) 我が国の歴史上の主な事象ア(ア) 狩猟や採集や農耕の生活</li> <li>・ 小学校 理科 第6学年 A(1) 燃焼の仕組みア(ア)</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
---

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【まいぎりを使って火だねを作る活動】



【火だねから火をおこす活動】

◆ 活動を通して育成する主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	○

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	○
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	

◆ プログラムの展開例 「火おこし」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虫眼鏡で集光する方法などを思い出し、発火する条件について調べる。</li> <li>・ 火おこしは、縄文時代の生活文化に起源があることを調べ、興味をもつ。</li> <li>・ 火を活用する場面を思い起こし、火の役割について整理する。</li> </ul>
--------------------------	---

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
岩城 少年自然の家 での 学習  【80分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 火おこし器で火をおこそう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火がおきたら、何らかの形で活用することを知らせ、意欲付けを図る。</li> </ul>
	2. 活動の見通しをもつ。【10分】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動場所や用具を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火はとても有用であることを確認し、あらためてどんな用途があるのかを問いかける。</li> </ul>
	3. 火の必要性を考えながら、火おこしに挑戦する。【55分】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火おこしをするための各作業場所を把握する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火おこし器を使う場所、火種から火をおこす場所を区分して示す。</li> <li>・ 火傷等の危険が無いよう見守る。 【学校職員】</li> <li>・ 実態に応じ適宜アドバイスをする。</li> </ul>
	☆次のような「“問い”」を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;">                     “問い”の例                       昔の火のおこし方は、大変そうだな。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                     ・ 火は大昔から必要なものだったの？                      ・ 昔の人はどのように火のおこし方を発見し、どんなことに使ってきたんだろう？                      ◎火を使うことで、生活上どんなことができるようになってきたの？                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                     今と昔では、火の使い道に違いがあるね。                 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                     現在でも火は、多くの場面で使用され、役に立っていることに気付くことができるように示唆する。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                     発言：児童生徒                      支援：指導者                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                     大昔、現代それぞれの火の用途について問う。                 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;">                     火は、様々なところで使われているね。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                     ・ 昔から火には大切な役割があったんだね。                      ・ 大昔には、今とは違う火の使い方があったようだ。                      ◎火は、今でも暖まったり明かりにしたり、いろいろなことに役立つことができるね。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                     便利な火を生み出した知恵はすご                 </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">                     解決の姿                 </div>		
	4. 活動を振り返る。【10分】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大昔から現代までどんな火の用途があったのかについて問いかける。</li> <li>・ 昔と今を比較するなど、積極的に追究する姿勢を賞賛する。</li> <li>・ 他の火のおこし方への関心を高める。</li> </ul>

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃焼を生み出す条件を分類しつつ、他の火をおこす方法も体験してみる。</li> <li>・ 数千年前から現代までの火おこしの方法の変遷についてまとめる。</li> <li>・ 日常生活において、火は必要不可欠な物であることを再認識する。</li> </ul>
--------------------------	---

プログラム名	<h1>テント設営</h1>
ねらい	テントの構造を理解し、自然状況を考えながら設営し、防災について主体的に学ぶ態度を養う。
内容	テントの設営・撤収及び、そこでの生活を体験します。その際、天候や風向き、日当たりなどの自然条件やテントの機能を考慮し、設営場所を決めたり、固定方法を工夫したりします。また、防災教育と関連付けることができます。 (屋内での設営も可能です)

◆ 関連付けて取り組みやすい各教科等の内容

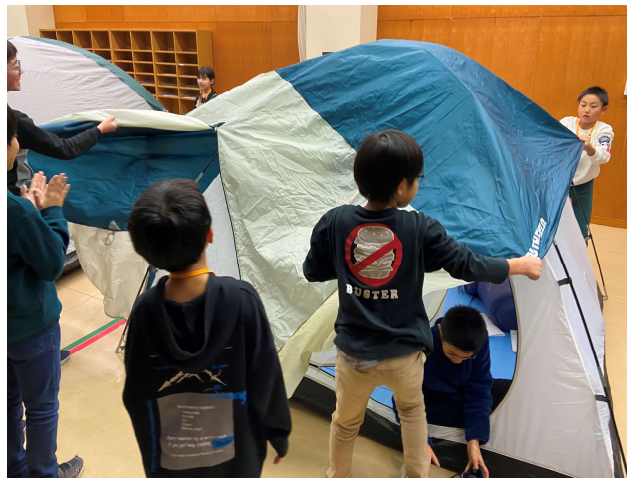
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校 社会 第5学年(5) 我が国の国土の自然環境と国民生活イ(ア)</li> <li>・ 小学校 理科 第3学年B(2) 太陽と地面の様子</li> <li>・ 小学校 家庭科 快適な住まい方</li> </ul>	など
--	----

※学校の実態に応じて、総合的な学習の時間及び特別活動と関連付けて実施することも可能です。

◆ 活動の様子



【完成したテントの様子】



【テントを設営する様子】

◆ 活動を通して育成する主な資質・能力

学習指導要領に示されている資質・能力	
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能の習得	
未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等の育成	
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養	○

“「問い」を発する子ども”の具体的な姿	
問題を発見する姿 「それは、どういうことか？」	
解決に向けて他者と関わろうとする姿 「こうするとよいのではないか？」	
主体的に問題解決を図ろうとする姿 「こう考えるがどうか？」	○

◆ プログラムの展開例 「テント設営」

学校等での 事前学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テント設営場所を考えることで、快適性・安全性に差が生じることを示唆する。</li> <li>・ テントの素材やベンチレーション機能について、個々の関心に応じて調べる。</li> <li>・ 自然災害等による避難所生活の際に活用する可能性があることを伝える。</li> </ul>
--------------------------	--

	児童生徒の活動内容	指導者側の留意点
岩城 少年自然の家 での 学習 【70分】	1. 活動のめあてを確認する。【5分】 快適に過ごせるようにテントを設営しよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用する用具や設置場所の範囲等について把握できるようにする。</li> </ul>
	2. テントの構造や設営方法を知る。【10分】 ・ 見えない、分かりづらいところについては、質問して確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時に使用する場合もあることを踏まえ、丈夫なテントにするため、設営上のポイントを説明する。</li> </ul>
	3. テントの構造や設置条件を考えながらテントを設営する。【45分】 ・ 自分たちでやってみる意思をもつ。 ・ 活動範囲を明確に把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全や自然条件について考慮できるように説明し、主体的な取り組みを促す。</li> <li>・ 設営に困難をきたしている状況があれば適宜支援する。【学校職員】</li> </ul>
	☆次のような「“問い”」を発見し、解決に向かって試行錯誤する場面」を支援します☆	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         “問い”の例                          しっかり住めるテントを作ることはできるのかな。                     </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         ・ 設営の際、気をつけることは何だろうか？                          ・ テントの機能には、どのようなものがあるのだろうか？                          ◎災害時には、テントはどのような役目をもつのだろうか？                     </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         別の何かでもテントになるものを作れそうだな。                     </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                             グループの友達と協力して設営するように促す。                         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                             発言：児童生徒                         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                             テントは、災害時にはどのように役立つと考えたのかを問いかける。                         </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         テント内の気温調節は、とても大切だね。                     </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         ・ 安全性や快適性を考える必要があるね。                          ・ テントには快適に過ごせるように、さまざまな工夫がされているんだね。                          ◎テントの仕組みが理解できると、災害時にも役に立てることができそうだ。                     </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         テントは意外と機能があって住みやすいね。                     </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">                         解決の姿                     </div>		
	4. 活動を振り返る。【10分】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テントが無い場合、代替りの物でも災害時に対応できることを伝える。</li> <li>・ 防災の意義も考えつつ、テント設営ができたことを賞賛する。また、テントでの生活、後片付けの見直しについても考えるように促す。</li> </ul>

学校等での 事後学習 ※必要に応じて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報端末等を活用し、テントの様々なバリエーションについても調べる。</li> <li>・ 季節が異なる場合、どのように自然条件が変化してくるのかを考える。</li> <li>・ 災害時には、どのような場所に設営され、活用されているのかを調べる。</li> </ul>
--------------------------	--